

早明浦発電所（水力）の出力が増加しました ～水車・主要変圧器更新による出力増～

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等）は、早明浦発電所（高知県長岡郡本山町）において、水車および主要変圧器を更新し、発電所の最大出力が42,000kWから43,200kWに増加しました。

本更新では、コンピューターを用いて水車内部における水の立体的な流れをシミュレーションする技術を利用し、翼形状を最適化した水車ランナを適用しました。また、主要変圧器の容量を44,000kVAから46,000kVAへ増強しました。これにより、水車発電機のエネルギー変換効率が向上し、許可された水利使用条件（水車の落差や最大使用水量）を変更せずに発電出力を1,200kW増加させることが可能となりました。

Jパワーは、引き続き発電効率を高める工夫や技術開発を通じて、未開発地点の新規建設、老朽化の進む主要設備の一括更新工事等を推し進め、[J-POWER “BLUE MISSION 2050”](#)で掲げるカーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの拡大に積極的に取り組んでいきます。



早明浦発電所（外観）



水車ランナ吊り込み

1. 早明浦発電所概要

所在地	高知県長岡郡本山町
出力	42,000kW → 43,200 kW
最大使用水量	毎秒65トン
ダム	早明浦ダム（堤長400m、高さ106m、総貯水容量3億1,600万 m^3 ） 管理者：独立行政法人水資源機構
運転開始	1972年2月

2. 位置図



以上